

# 第58回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所  
るびなす

---

令和5年7月28日

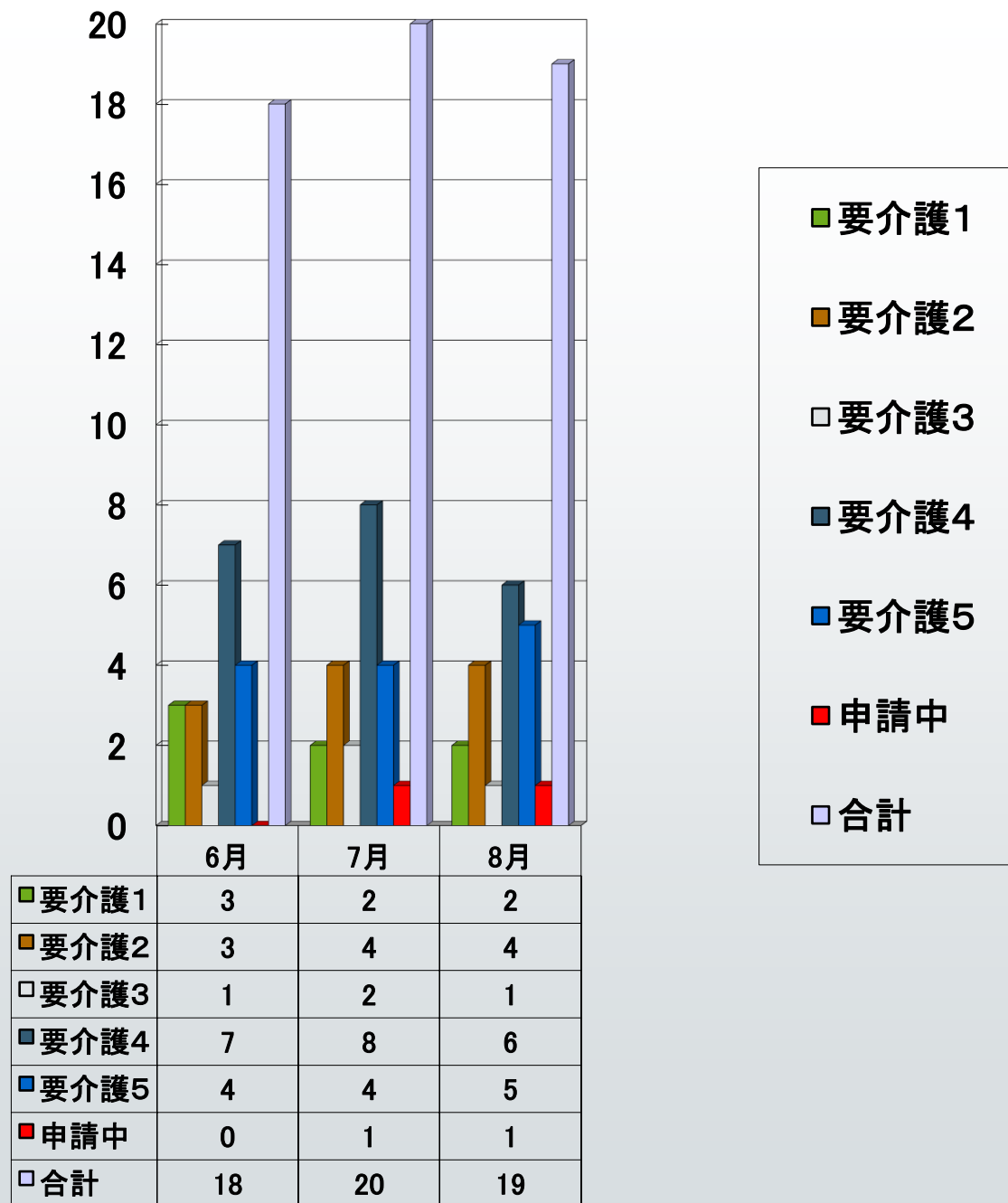
# 第58回運営推進会議

---

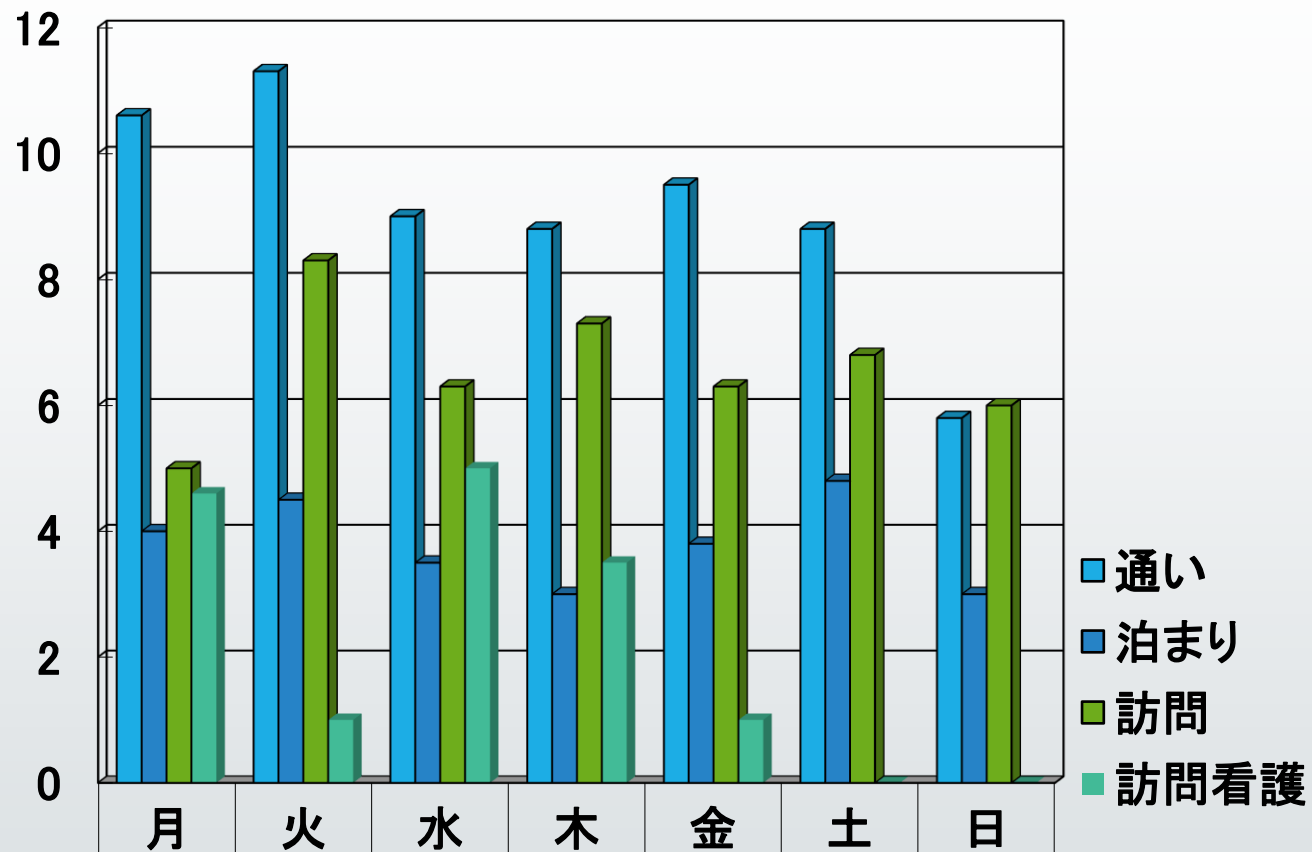
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 看取りの報告
- 活動報告
- 事例紹介

# 登録利用者数 令和5年6月～令和5年8月

8月  
平均介護度 3.26



# 令和5年7月 曜日別延べ利用者数



	月	火	水	木	金	土	日
通い	10.6	11.3	9	8.8	9.5	8.8	5.8
泊まり	4	4.5	3.5	3	3.8	4.8	3
訪問	5	8.3	6.3	7.3	6.3	6.8	6
訪問看護	4.6	1	5	3.5	1	0	0

## 新規ご利用者の紹介

○H・M様 男性 85歳 要介護4 独居  
右被殻出血，左半身麻痺，構音障害，心房細動

H24.11から左半身麻痺あり。訪問介護1日2回，通所介護週2回、H27から訪問看護るぴなす月2回，斎藤先生の訪問診療月2回受けている。不満から何度かサービスの変更あり。夜間転倒し起きれない等何かあると訪問看護へ連絡が行く状態だった。

一人暮らしの継続を強く希望されているが、介護サービスが入っていない時間帯の対応や便秘の問題があり、柔軟な対応が必要な為7/10より看護小規模に移行する。毎日1日3回訪問し、配食，排泄介助，服薬介助，環境整備，水分声掛け，通いの準備，ゴミ捨てなど。週1～2回買い物，週1回掃除・洗濯。必要時、外出支援。通いにて入浴し昼食を食べてから帰宅。

## 新規ご利用者の紹介

○H・A様 女性 83歳 要介護2 夫と二人暮らし  
多発性筋炎，ステロイド糖尿病

H27多発性筋炎と診断される。体調がすぐれず嘔気・嘔吐があって動けないことあり、全身の筋力も低下、指先が利かない。立ち上がり困難で、昇降機を使用し歩行器で歩行。

デイサービス週2回，訪問介護週2回，訪問マッサージ週2回利用していた。これまで夫により家の事，買い物，受診の付き添いされていたが、R.5.7夫の病気が見つかり動けなくなり、7/25より二人で看護小規模多機能の利用開始。毎日訪問し、配食，ゴミ出し、随時買い物，掃除・洗濯，受診の送迎，家の事で大変な事を支援していく。

## 新規ご利用者の紹介

○H・Y様 男性 86歳 介護認定申請中 妻と二人暮らし  
肝臓がん末期

6/23肝細胞癌の診断。悪性腫瘍に伴う浮腫による水疱。抗がん剤治療で  
きる状態ではなく緩和医療となる。

7/18腹水が急激に増加。7/21市民病院消化器内科受診、在宅医療へ移行  
となる。医療保険で訪問看護。斎藤先生の訪問診療。何かあった時に関  
われるように、7/25より看護小規模多機能利用開始。毎日訪問し、配食、  
家の事で大変な事を支援。体調観察し、変化や悪化ある時は医療職へ繋  
ぐ。

## 看取りの報告

●O・M様 女性 94歳 要介護4 夫と二人暮らし

R2.3利用開始。夫と共に連泊利用し、ご家族が自宅に来て下さる時に帰宅していた。

R5.6/19～腰痛、食事摂取量減少。6/20 発熱 6/21抗生剤、解熱剤服用。  
6/22 腰痛の訴えないが、開眼せず。微熱続く。6/26 開眼せず、何度か声掛けし小さく返答。苦痛はないと言われる。何も飲めず。臀部剥離悪化、ゲーベンで処置、エアマット導入。6/27エンシュアを飲む。6/28 訪問看護、採血。炎症反応あり抗生剤処方。血糖値高く糖尿病の薬再開。6/29呼吸変化あり、呼吸の間隔長くなり呼吸停止。訪問看護より確認。長女様来られる。斎藤先生より20:30死亡確認。



## 看取りの報告

●H・A様 女性 90歳 要介護4 独居

H28.12利用開始。訪問利用し、自宅で暮らしていた。

R3.4 自宅お風呂から上がれなくなった事をきっかけに、歩行ができなくなり、連泊利用。10月より徐々に帰宅。

R5.3～発作のような息苦しき出てくる。4月～足首の傷悪化し、滲出液増える。5月 食欲ない日が続いた。5/22ほとんど起きず、内服薬休薬。6月、下痢や軟便繰り返す、整腸剤と下剤の調整。ムズムズ病頻繁、夜間泣き叫び、日中リビングでも衣服を脱いだり叫び声。

6/14～一部内服薬再開。調子見て、皮膚科受診や、訪問歯科で義歯作成。夜間も日中も苦しむ声が大きく数分おきに繰り返すようになり、6/30より安定剤服用始めたが苦痛訴え続いた。体調良い時、シャワー浴等もできていたが、7/3朝から開眼せず。7/4声掛けに僅かに返答あるが開眼せず、単がらみあり、水分も摂れず。夕方呼吸の変化あるが、バイタル、顔色は悪くない。18～19時、皮下輸液。19:30変わりなかったが、20:30訪室した際、呼吸停止している。訪問看護、お嫁様来所され、斎藤先生より21:40死亡確認。

## 委員会活動紹介

接遇・マナー 虐待防止・身体拘束適正化 . . . 別紙参照

研修委員会 内部研修会 . . . 別紙参照

# 第58回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：令和5年7月28日(金) 18:00～

出席者：高志2丁目自治会役員長・目黒様，民生委員・大嶋様

地域包括支援センター山潟・小石様，デイサービスご利用者ご家族・猪浦様

法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，通所介護管理者・遠藤，看護小規模管理者・中村

## 1、ご利用者現況報告

- ・登録利用者数
- ・曜日別利用者数・・・訪問数は人数を示しており、お一人に一日複数回の訪問あり。  
通い・泊まりが減り、訪問が増えている。ニーズが変わってきている。

## 2 新規ご利用者の紹介

- ・一人暮らし，高齢者世帯が増えている。

## 3、看取りの報告

- ・高齢の夫婦で二人暮らしできず連泊利用され、ご家族の協力により帰宅されていた方。
- ・ずっと一人暮らしで、さいごまで地域の方との関わりがあった方。

## 4、活動報告

○行事，日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

- ・ 6月...天気の良い日にドライブ。いくとぴあで、花，アルパカを見る。海へ。
- ・ 7月...すいか割り。見ているだけで楽しく、応援の声も聞かれ良かった。
- ・ 梅ジュース作り，梅干し作り
- ・ 誕生日のお祝い

## 5、委員会活動紹介

- ・ 5月から特定処遇加算あり、職員の質を高める活動として、研修を職員自身で計画，外部研修の伝達方法を決めるなど。

## 6、事例紹介

- ・家に居たい一人暮らしの方。理解力低下あり、サービスの切り替えに環境が変わるストレスあり、苦勞した。怒られながら2週間、ようやく会話が増えてきている。排便の管理が難しい、車いすからベッドの移乗で転ぶ事がある。
- ・家に居たい高齢二人暮らし夫婦。動けていた夫が動けなくなり、生活が一変。訪問でゴミを集め玄関に出し、地域の方が回収して下さる、地域とのつながり。粗大ごみの手配。訪問看護との連携。

## 7 その他ご意見等

- ・大変な仕事だと思う。その人の特異性もあり、トラブルもあり、当たる人は大変だろうと思う。
- ・ゴミ捨ては山コミで中学生が学校に行く時に捨ててくれるものもある。
- ・このようなケース増えている。その方のライフスタイルがあり、自宅中心だと希望ある。
- ・近い所でないときめ細やかな支援は難しい。鍵の開け閉め、新聞、食事のお届け…。

最初は中学校区に一つとしていたが数が増える方向。

- ・入院はしない？・・・訪問診療，訪問看護，訪問薬局が自宅へ行く。病院では治療対象の短期間、療養は病院以外で、どう暮らすか。家で死にたい方、施設へ行きたくない方。生活を繋げる為に支援している。
- ・希望も病気も環境も考え方も、皆違う。教えてもらい、良かった。
- ・このような支援が出来るとお伝えし、地域の中にある事が広がると良い。
- ・自分の母は施設に入りたいと見学に行った。自分が仕事で不在になる時、ショートステイはベッドが空いていないと行けない。・・・そのような時は、泊まり利用も、訪問も可能。
- ・ぴったりの所はない、最初は家で死にたいと思っても、家族に迷惑かけたくないと思い施設、でもやはり家がいい、気持ちが揺れるのは当然のこと。
- ・信頼関係がないと、家に入るのも大変でしょう。・・・大変な方はまずは職員2人で行っていた、その2人とも心折れてしまうような時もあったが、今は一人でも行けるようになっている。

## 7 お知らせ

- ・9月9日、るぴなす祭り、4年ぶり。自治会と協力して行います。ぜひお越しください。

どうぞ今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同

